

本時のねらい 世界旅行ゲームを通して、世界の国々のあいさつの仕方を知り、世界には様々なあいさつがあることに気付く。

本時の展開 ( 1 / 3 )

過程	学習活動	本時の重点とする評価の観点と評価方法
導入	1.Warm-up ・ Hello./ Good morning.担任と児童とで挨拶をする。 ・ Let's Chant Hello Chant を行う。 Hello. × Hello. × My name is ~. × Nice to meet you. ( × は手拍子 ) 2.ALT's Time ・ ALT の自己紹介を聞く。 Hello. My name is Mike. I'm from Australia. Nice to meet you. 3.Activity	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ア コミュニケーションに対する関心・意欲・態度 世界の国々のあいさつに興味をもって使おうとしている。【観察・英語ノート】</p> <p>ウ 言語や文化に関する気付き 世界には様々なあいさつがあることに気付いている。【観察】</p> </div>
課題	世界の国々のあいさつの言葉で、たくさんの友だちとあいさつをしながら世界旅行ゲームをしよう。	各過程における配慮事項
展開	(1)Let's Listen ( 評価の観点 ウ ) ・ 付属 CD の画面を見ながら、いろいろな国の「こんにちは」を聞く。 ・ もう一度聞きどこの国の「こんにちは」かを考え予想して絵を指さす。 こんにちは / ニーハオ / アンニョンハセヨ / ボンジュール / ズドラーストヴィチェ / ポアタルジ / ジャンボ ( 英語ノート 1 -P4,5 ) (2)Activity ( 評価の観点 ア ) ・ 教師によるスキットを見て、活動の見通しをもつ。	学習活動 1 について 初めて外国語活動の時間であることを考慮し、担任自ら元気よく児童にあいさつをする。英語ノート付属の CD を使いチャンツを行う。ここでもまずは担任がやってみせ、児童がそのやり方に気付き真似してやることを促すようにする。 学習活動 2 について ALT が配置されている学級ならば ALT によるあいさつや簡単な自己紹介を聞かせたい。担任は児童と一緒に聞き、“Mike, Australia ” など内容を理解する上で大切な言葉を繰り返し言い、児童の理解を支援する。
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>世界旅行ゲーム</p> <p>A:(フランスの国旗カードを持ち) Bonjour. My name is Ken. Nice to meet you.</p> <p>B:(オーストラリアの国旗カードを持ち) Hello. My name is Mike. Nice to meet you,too. ( 握手する。)</p> <p>A: Here you are. ( シールを渡す。)</p> <p>B: Thank you. Here you are. ( シールを渡す。)</p> <p>( もらったシールを地図にはる。)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <p>シールはカラーの丸シールや国旗シールなどを用いる。</p> </div>	学習活動 3 について 英語ノート付属の CD には、7 つの国の言葉の「こんにちは」が収録されている。Hello 以外にもニーハオ、アンニョンハセヨなど児童が聞いたことがあるものも収録されている。CD を聞いてどこの国かを当てるクイズに取り組み、様々な国の言葉に興味をもたせたい。 カードを持ち活動を行う場面では、カードに描かれた国のあいさつの言葉を使い、仲間に次々と声をかける児童や、アイコンタクトを保ち会話する児童、誰とでも仲良く握手しながら活動をする児童を活動中に認める。
評価	・ 世界地図と国旗カードを持ち、いろんな子にあいさつをする。もらったシールは英語ノート 1 -P4,5 にはる。 4.Evaluation (1) 自己評価をする。 ・ 世界の国々のあいさつの言葉を真似して言えた。 ・ 世界にはいろんなあいさつの言葉があることが分かった。 (2)相互評価をする。 活動の中で見られた仲間のすばらしい姿を認め合う。 ・ さんが笑顔で話しかけてくれてうれしかった。 ・ さんがいろいろなあいさつを言っていた。 等 (3)教師による評価を聞いて次時への意欲をもつ。 ・ たくさんの友だちに話しかけていろいろなあいさつ言葉を聞くことができた。 ・ 教師の話や CD をうなずいて内容を想像して聞いていた。	学習活動 4 について 本時において特に重点を置く観点で自己評価や教師による評価を行う。いろいろな国のあいさつを聞いてその違いに興味をもち、使おうとしていた児童や、誰とでも仲良く活動を進めようと多くの仲間に声をかけていた児童を価値付ける。 中学校へつなげるポイント 小中学校で扱う外国語は主に英語であるが、この時間は様々な国の言葉を取り上げる。英語も日本語も世界にある多くの言語の一つである。活動を通して、様々な国やその言葉に親しみ、尊重しようとする態度を育てたい。